

調剤 阿賀店

4月に入社した久保田敦夫です。
両親の故郷である呉市で生まれ、

その後、高校卒業までは広島市で育ち、大学進学を機に東京で暮らしていましたが、不思議な縁に導かれる形で出身地の地域医療に貢献出来る機会を頂きました。昭和から平成、そして令和に変わり、時代と共に価値観が変わることは当然のことなのかも知れませんが、それでも、改めて世の中を振り返ってみますと、「交換されるものの価値(マーケットで値段がつけられる経済的価値)」ばかりが強調されて、「存在するものの価値(マーケットでの取引が想定されないものの価値、例えば文化や自然、そして何よりも人間の命の価値などお金に換算され得ないものの価値)」が正面から論ぜられなくなってきたことに気付かされます。こうした枠組みで考えてみますと、仕事で所得を得ること、投資や消費を行いマーケットで価値を交換することは、結局は掛け替えのない存在者「**存在の価値**」のために行っていると言えます。つまり、存在するものの価値こそが目的であって、経済的に取引される「交換の価値」はそれを支える為の手段であるはずだということです。しかしながら、最近では、人間の価値が経済的価値である「交換の価値」ばかりによって論ぜられていると感じます。存在者としての人間の価値が、「交換の価値」に準じた二次的なものとして扱われ、目的と手段が逆転することで「交換の価値」の為に「存在の価値」が位置づけられる傾向が強まっているということです。こうした本末転倒の傾向がお金に繋がらない地域福祉の脆弱化や人間関係の希薄化をもたらすなど、社会全体の根深い問題に繋がっている、と思います。

前置きが少し長くなりましたが、呉市においては「**地域社会のコミュニティの強さ**」を感じます。現在の日本が抱える諸問題の縮図のような街ではありますが、人間関係の強さが真に豊かな社会になるきっかけになるものと確信しています。私の勤務する阿賀店は調剤部門とドラッグ部門があり、両者で連携をとりながら、こうした「存在の価値」をしっかりと受け止めた上で、地域の皆様にお力をお借りしながら、また、私に出来ることは何なりとやっていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



広中央店

こんにちは！マリン通信を楽しみにご覧くださり、ありがとうございます。



広中央店の戸田です。寒さも落ち着いてきて、過ごしやすくなりました。ただ、雨の日や朝晩は冷え込むこともありますので、体調にはくれぐれも気を付けて下さい!!! 暖かくもなり、「**釣り**」

の季節となってきました!!最近友人に誘われ、船での釣りにいくことが多くなりました。先日、「DASH島」でお馴染みの由利島付近で**尺メバル**を狙いに行きました。朝、5時から出船し目的地までは1時間ちょっとでつき、そこからひたすら釣りをしました。仕掛けはサビキで、後は海底に落として合わせるだけの簡単な釣りで、その日の食い合わせによってサビキの種類は、ちょこちょこ変えつつやっていました。20cm未満は大量なんですけど……なかなか尺サイズは上がってきませんでした。今回は厳しいかなと思っていましたが、その時!!今までとは明らかに違う重さと引き!!これはいったかなあ一つと巻き上げながら思っていたが、29.5cm…残念(;▽;)



あと少しでしたが今回はこれがベストサイズでした。釣ったメバルは自分で捌いて刺身にしてみました。なかなか大きいサイズは釣れませんが、今後も頑張っていきます!!